

偏差値

対象のフィールドの値ごとに集計し偏差値を計算する

◇機能

《偏差値》は、対象フィールド（キーフィールド）の値を集約し、その値ごとに偏差値を計算する機能です。

商品No	営業担当者	金額
300001	101	5,000
300001	102	5,000
300001	103	5,000
300001	104	5,000
300001	105	5,000
300001	106	1,800



商品No	営業担当者	金額	偏差値
300001	101	5,000	54.472
300001	102	5,000	54.472
300001	103	5,000	54.472
300001	104	5,000	54.472
300001	105	5,000	54.472
300001	106	1,800	27.639

商品Noごとに金額の偏差値を計算する

◇メニュー

《分析》-《偏差値》

◇設定内容

1 テーブル名: 偏差値

2 偏差値キー: フィールド レコード

3 フィールド名

4 データ型

5 偏差値計算フィールド

6 その他出力フィールド: 選択しない 選択する

7 データ分布の調整 (対数変換): する しない

8 外れ値の扱い: 除外する 除外しない

9 外れ値の計算方法: 四分位範囲(IQR) スミノフ・グラブス検定

10 IF条件

11 出力先: 画面 テーブル

12 保存先

13 実行

14 キャンセル

1. テーブル名 : 操作の対象となっているテーブルが表示されます。
2. 偏差値キー (必須) : 偏差値を計算するグループの基準を選択します。
 - レコード
 - 全てのレコードを基準とします。
 - フィールドは選択できません。
 - フィールド
 - フィールドの一覧で、要約の基準とするフィールドをクリックして選択します。
 - フィールドは、複数選択できます。
 - 選択した順に番号が表示され、番号順に要約の優先度が決まります (1が優先度高)。
3. フィールドの全選択/全解除 : チェックボックスのオン/オフで、すべてのフィールドの選択/解除が行えます。
4. 《フィールド選択》ボタン : 「フィールドの選択」画面を開き、フィールドの選択・並び順の変更を行うことができます。
5. 偏差値計算フィールド (必須) : フィールドの一覧で、偏差値を計算する数値フィールドをクリックして選択します。
 - 小計フィールドには、数値型のフィールドのみが表示されます。
 - フィールドは、複数選択できます。
 - 選択した順に番号が表示され偏差値の計算結果として表示する列の順番が決まります。
6. その他出力フィールド (任意) : 要約キーフィールドおよび小計フィールドで選択したフィールドの他に、要約の結果に表示したいフィールドがある場合は、フィールドの一覧からクリックで選択します。
 - その他出力フィールドの有無を選択できます。
 - 「要約キーフィールド」、「小計フィールド」で選択しているフィールドは、要約の結果に表示されます。
7. データ分布の調整 (対数変換) : 偏差値を計算する際に対数変換を行うか選択します。
※対数変換はデータを対数スケールに変換し、分布を調整します。
8. 外れ値の扱い : 偏差値を計算する際に外れ値を除外するか選択します。
9. 外れ値を除外する計算方法 : 外れ値を除外して計算する場合に、外れ値の計算方法を指定します。
 - 四分位範囲 (IQR)
 - 第一四分位と第三四分位外のデータを外れ値とします。
 - スミノフ・グラブス検定
 - 正規分布に従っていないデータを外れ値とします。
10. IF条件 (任意) : 抽出条件を設定する場合は、「IF条件」に条件式を入力します。
11. 出力先 : 実行結果の出力先を選択します。デフォルトは、「画面」が選択されています。
 - 画面 : 実行結果を画面に表示します。
 - テーブル : 実行結果を新規テーブルに出力します。
12. 保存先 (出力先が「テーブル」の場合は必須) : 実行結果の出力先となる新規テーブル名を入力します。
13. 《実行》ボタン : 実行します。
14. 《キャンセル》ボタン : 実行せず画面を閉じます。

◇分析結果の例

対象テーブル

商品No	販売単価
30103001	50
30103001	110
30103001	120
30103001	130
30103001	130
30103001	130
30103001	130
30103001	130
30103001	140
30103001	141
30103001	150
30103001	153
30103001	160
30103001	161
30103001	400
30103001	600
30103001	800

偏差値キー : 商品No
 偏差値計算フィールド : 販売単価
 データ分布の調整（対数変換） : する
 外れ値の扱い : 除外する
 外れ値の計算方法 : 四分位範囲（IQR）



処理結果

商品No	販売単価	① 対数変換後_販売単価	② 外れ値_下_販売単価	③ 外れ値_上_販売単価	④ 外れ値_販売単価	⑤ 偏差値_販売単価
30103001	50	1.69897	1.976649	2.342767	50	999.99
30103001	110	2.041393	1.976649	2.342767	0	43.585305
30103001	120	2.079181	1.976649	2.342767	0	44.942646
30103001	130	2.113943	1.976649	2.342767	0	46.191279
30103001	130	2.113943	1.976649	2.342767	0	46.191279
30103001	130	2.113943	1.976649	2.342767	0	46.191279
30103001	130	2.113943	1.976649	2.342767	0	46.191279
30103001	140	2.146128	1.976649	2.342767	0	47.347332
30103001	141	2.149219	1.976649	2.342767	0	47.458362
30103001	150	2.176091	1.976649	2.342767	0	48.423592
30103001	153	2.184691	1.976649	2.342767	0	48.732504
30103001	160	2.20412	1.976649	2.342767	0	49.430366
30103001	161	2.206826	1.976649	2.342767	0	49.52756
30103001	400	2.60206	1.976649	2.342767	400	999.99
30103001	600	2.778151	1.976649	2.342767	600	999.99
30103001	800	2.90309	1.976649	2.342767	800	999.99

- ①対数変換後_販売単価 : 対数変換後の販売単価の値
※データ分布の調整（対数変換）に「する」を選択した場合のみ表示されます。
- ②外れ値_下_販売単価 : 販売単価の外れ値の下限となります。
データ分布の調整（対数変換）をする場合は対数変換後の値の下限となります。
※外れ値の計算方法に「四分位範囲（IQR）」を選択した場合のみ表示されます。
- ③外れ値_上_販売単価 : 販売単価の外れ値の上限となります。
データ分布の調整（対数変換）をする場合は対数変換後の値の上限となります。
※外れ値の計算方法に「四分位範囲（IQR）」を選択した場合のみ表示されます。
- ④外れ値_販売単価 : 外れ値のレコードの値を表示します。
外れ値ではないレコードの値は0と表示されます。
※外れ値の扱いに「除外する」を選択した場合のみ表示されます。
- ⑤偏差値_販売単価 : 偏差値を表示します。
外れ値を除外する場合、外れ値のレコードの偏差値は999.99で表示されます。

◇分析結果の例

対象テーブル

商品No	販売単価
30103001	50
30103001	110
30103001	120
30103001	130
30103001	130
30103001	130
30103001	130
30103001	130
30103001	140
30103001	141
30103001	150
30103001	153
30103001	160
30103001	161
30103001	400
30103001	600
30103001	800

偏差値キー : 商品No
 偏差値計算フィールド : 販売単価
 データ分布の調整 (対数変換) : しない
 外れ値の扱い : 除外しない
 外れ値の計算方法 : —



処理結果

商品No	販売単価	偏差値	販売単価
30103001	50	41.511261	
30103001	110	44.620243	
30103001	120	45.138406	
30103001	130	45.65657	
30103001	130	45.65657	
30103001	130	45.65657	
30103001	130	45.65657	
30103001	130	45.65657	
30103001	140	46.174734	
30103001	141	46.22655	
30103001	150	46.692897	
30103001	153	46.848346	
30103001	160	47.211061	
30103001	161	47.262877	
30103001	400	59.646987	
30103001	600	70.010258	
30103001	800	80.373529	

◇操作ログ

DEVIATION ON [偏差値キーフィールド1] [偏差値キーフィールド2] …または**ALLFIELDS SUBTOTAL** [偏差値計算フィールド1] [偏差値計算フィールド2] …または**ALLFIELDS OTHER** [その他出力フィールド1] [その他出力フィールド2] …または**ALLFIELDS IF** 条件式 **外れ値の扱い** **外れ値の計算方法** **対数変換** **TO** 出力先

- ※「IF条件」を設定した場合は、IF条件式が記述されます。
- ※出力先は、「出力先」の選択により、記述が変わります。

出力先	ログ
「画面」を選択した場合	SCREEN
「テーブル」を選択した場合	"(サブフォルダ名)¥新規テーブル名"

※条件の設定により記述が変わります。

項目	条件の設定	ログ
外れ値の扱い	除外する	EXCLUDE OUTLIER
	除外しない	INCLUDE OUTLIER
外れ値の計算方法	四分位範囲 (IQR)	IQR
	スミノフ・グラブス検定	SMIRNOV GRUBBS
対数変換	する	LOGARITHM
	しない	—